



慶應義塾大学ビジネス・スクール

原宿商店・【問題】

次の取引を仕訳し、元帳へ転記しなさい。決算整理仕訳のあと、帳簿を締め切り、貸借対照表と損益計算書を作成しなさい。

1. 原宿商店を資本金 3,000,000 円で設立し、資本金を現金預金とした。

(借) (貸)

2. 2,000,000 円を借り入れ、現金預金とした。

(借) (貸)

3. 車両運搬具を、12,000,000 円で購入し、代金を未払いとした。

(借) (貸)

4. 商品 2,000,000 円分を仕入れ、代金は掛けとした。

(借) (貸)

5. 商品を 5,000,000 円分売り上げ、代金は掛けとした。

(借) (貸)

6. 買掛金 1,000,000 円を現金預金で支払った。

(借) (貸)

このケースは、クラス討議の資料として、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 太田康広が作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 太田康広 (2012年7月作成)